

社内環境 (フリーアドレス)

フリーアドレスは、従来のオフィス環境のように社員が固定席を持たず、業務の内容や状況に応じて自由に席を選び、仕事を行うことです。



▲自由な席で効率UP(執務室 全景)



▲立ち仕事で気分転換(昇降式デスク)



▲画面を見ながら打合せ(デュアルモニター席)



▲仕切りのある席で業務に集中(集中席)



▲勉強会(レビュー室)



▲ガラス張りの個室で打合せ(ミーティング室)



▲ちょっと一息(ソファ席)



▲みんなでランチ(カウンター席)



▲みんなでランチ(レビュー室)



株式会社 **ウヌマ地域総研**

創業
登録部門

昭和44年(1969年4月)
・建設コンサルタント部門
・補償コンサルタント部門
・一級建築士事務所登録
・測量業者登録
・地質調査業者登録



会社情報はコチラから
ホームページへ



本社

〒010-0965
秋田県秋田市八橋新川向13番19号
TEL.018-863-5809 FAX.018-863-5022

ACCESS

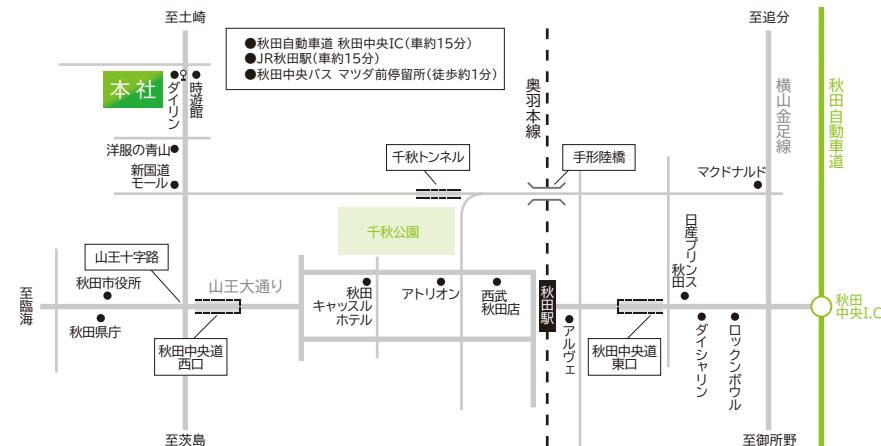
■ 仙台支社
〒981-3112
宮城県仙台市泉区八乙女二丁目11番地の2
TEL.022-341-7625 FAX.022-341-7668

■ 盛岡支社
〒020-0883
岩手県盛岡市志家町3番28号
TEL.019-613-7480 FAX.019-613-7481

■ 湯沢支社
〒012-0002
秋田県湯沢市字下二井田21番地2
TEL.0183-73-7181 FAX.0183-73-7183

■ 北秋田支社
〒018-3312
秋田県北秋田市花園町20番13号
TEL.0186-63-2905 FAX.0186-63-2925

■ 山形支社
〒990-0024
山形県山形市あさひ町19番13号
TEL.023-676-8840 FAX.023-676-8850



<http://www.unuma.co.jp> E-mail. info@unuma.co.jp

TOMORROW UNUMA

ウヌマ地域総研が支える地域の明日。

UNUMA

ウヌマは、ユーを求めている。



株式会社 **ウヌマ地域総研**

コンサルタントのお仕事

弊社のお仕事は、国・県・市町村などが行う公共事業をお手伝いすることです。



商品ラインアップ

建設コンサルタントとは、道路、河川、ダムなどの社会資本の実現に向けて、調査、計画や設計等を含む技術コンサルティングサービスを行う仕事です。補償コンサルタントとは、公共事業を施行する際に、土地を取得したり、建物等を移転する必要がある場合、その所有者に対して、正当な補償を行う仕事です。

上下水道

上下水道は、人々が日常生活を行う上で、重要なライフラインです。水の供給・処理に関する各種施設について、地域の特性や実情に配慮した上下水道施設の計画・設計を行います。

砂防

砂防事業は、豪雨や地震等による土砂災害から国民の安全・安心を守るため、砂防施設整備が必要です。弊社では、特に土砂災害防止法に基づく基礎調査などのソフト対策や砂防堰堤などのハード対策を得意としています。

農業土木

"農業土木"とは日本独自の技術です。農地や水路、頭首工、ため池等は、生産基盤とともに生活に身近な存在です。それらの施設の維持改善に向け調査・設計を行います。

橋梁

河川や道路・鉄道等を跨ぐ橋梁は、生活道路や災害時緊急輸送路の役割を担う重要な構造物です。弊社では、橋梁の新設設計や補修・補強設計および長寿命化計画策定等を行っています。

地質調査

地質情報は、建設事業における計画や設計施工、維持管理、防災計画や環境保全など様々な分野に活用されています。近年では急激な環境変化により、災害が増加しているため、地盤解析などを行い、復旧に向けた提案を行います。



補償

公共施設をつくるためには、事業に必要な土地を取得したり、事業に支障となる建物等の移転が必要です。そのために土地の買収価格、建物移転費の算定などを行う仕事です。

河川

近年の異常気象により豪雨災害が頻発しています。河川整備は、災害から国民の安全・安心を守るため、防災・減災の観点からも必要です。弊社では、特に河川災害復旧対応や河川構造物設計を得意としています。

道路

道路設計では、国民が普段利用している道路の交通安全の向上や渋滞緩和等を目的に、車道・歩道の拡幅や交差点改良、バイパス・高規格道路整備に向けた調査設計を行っています。

測量

新しい道路や河川の計画、災害復旧などを実施するためには、基礎資料となる測量データが必要です。弊社では、最新機器の技術を取り入れながら、高精度な測量を実現しています。

ウヌマ地域総研の一日

とある社員の1日(内勤・外勤)



技術ツールを活用した技術提案

UAV (無人飛行機)

弊社のUAV(無人飛行機)はローターが複数あるマルチコプターです。マルチコプターは、リモコンによる遠隔操縦やGPS搭載による自律飛行が可能です。

- 上空150mの斜め・垂直撮影が迅速にできます。
- 遠隔操作飛行200mと自律飛行1kmの移動が可能です。

ADCP (超音波多層式流速計)

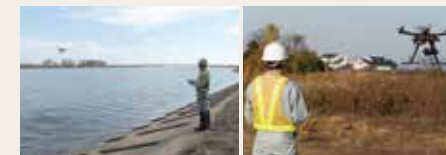
弊社が取り扱うADCPは高精度な3次元流速分布やボトム深浅形状、流量データが得られる簡易かつ高精度なドップラー式3次元流速・流量計です。

- 流量観測
- 深浅測量、3次元水中計測

レーザースキャナー

スキャナーから照射されたレーザーによって、対象物の空間位置情報を取得する計測です。安全に離れた位置から非接触、ノンプリズムで大量点群データを取得できます。

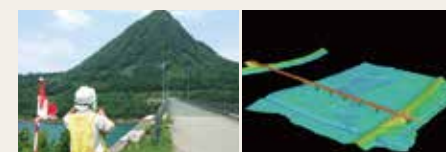
- 地上型3Dレーザー
- 航空レーザー



UAV(無人飛行機)を活用した調査・技術提案



ADCPを活用した河川測量



3次元レーザースキャナーによる地形計測

サポート&アシスト(福利厚生)

社会保険をはじめ、休暇、各種教育研修をしっかりとサポートいたします。

福利厚生...各種社会保険、退職金制度、財形貯蓄制度、資格取得支援、慶弔見舞金
休日休暇...当社カレンダーによる(年間休日数:約113日)、年末年始、年次有給休暇(初年度 10日)、慶弔休暇
教育研修...新入社員研修、各種技術研修、セミナー、階層別研修

キャリアアップ

一般社員からスタートし、経歴やスキルを積み、個人の努力と弊社のサポート体制により資格を取得し、昇進していきます。

各キャリアに聞きました

1. 名前
2. 入社年
3. 出身学校
学部・学科



有資格一覧

博士(工学)	補償業務管理士
技術士	測量士
RCCM	一級建築士
地質調査技士	二級建築士
林業技士	一級土木施工管理技士
コンクリート診断士	下水道第一種技術検定
土木鋼構造診断士	下水道第二種技術検定
農業土木技術管理士	

- | | | |
|---|--|---|
| 1. 水澤篤樹
2. 2015年
3. 金足農業高等学校
環境土木科 | 1. 高橋一也
2. 2015年
3. 日本大学
工学部土木工学科 | 1. 齋藤絵梨子
2. 2013年
3. 秋田大学
工学部土木環境工学科 |
|---|--|---|



一般社員

- ・上司の下で様々なこと(技術、知識、教養等)を学びます。
- ・入社後1~5年程度

- | | |
|--|--|
| 1. 伊藤和樹
2. 2010年
3. 東北工業大学
工学部建設システム工学科 | 1. 小山甫
2. 2010年
3. 北見工業大学
土木開発工学科 |
|--|--|



主任・係長

- ・主担当として業務を遂行します。
 - ・部下を教育します。
 - ・入社後5~10年程度
- 【必要な資格】
- ・測量士
 - ・二級建築士

- | | |
|---|--|
| 1. 梅沢武人
2. 1999年
3. 秋田大学
鉱山学部土木環境工学科 | 1. 林崎満
2. 1997年
3. 国立秋田工業高等専門学校
専攻科 |
|---|--|



課長級

- ・プレイングマネージャーとして、チームをまとめます。
 - ・入社後10~20年程度
- 【必要な資格】
- ・RCCM
 - ・補償業務管理士
 - ・一級建築士

- | | |
|--|---|
| 1. 藤田勝
2. 1995年
3. 秋田大学大学院
工学資源学研究科 | 1. 赤川浩輝
2. 1989年
3. 秋田県立農業短期大学
農業工学科 |
|--|---|



部長級

- ・マネジメントリーダーとして、部内をまとめます。
- 【必要な資格】
- ・技術士

1. 熊谷敬喜
2. 1986年
3. 秋田県立農業短期大学
農業工学科



1. 高橋進
2. 1977年
3. 東北測量専門学校
測量科本科



取締役

- ・会社の重要な業務方針を決定します。

1. 鶴沼順之
2. 1996年
3. 日本大学
理工学部 土木工学科



社長

- ・会社に対する全責任を負います。
- ・会社を経営します。

経営者研修

部下・人材育成研修

新入社員研修

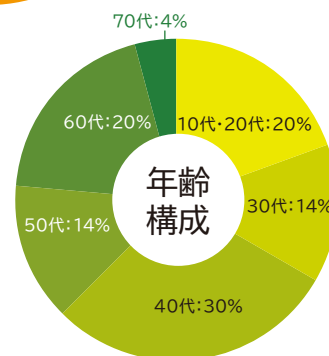
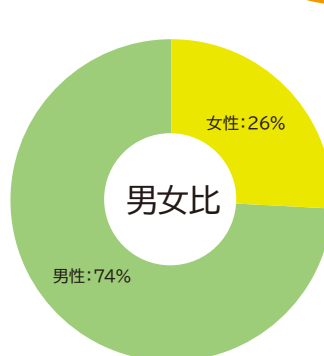
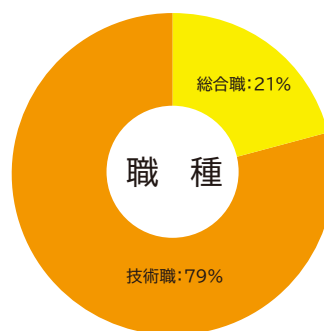
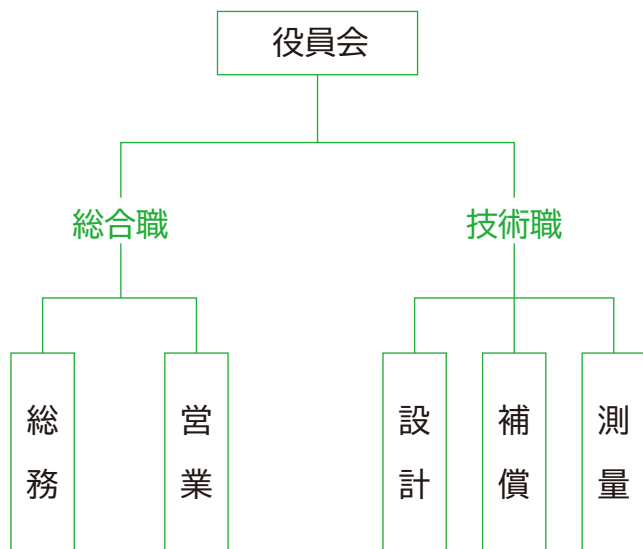
外部

技術研修

当社では、OJT(職場内訓練)とOff-JT(職場外訓練)の両方を活用し、効果的かつ効率的な人材育成に取り組んでいます。

組織図

地域に必要とされる、地域密着型の技術者集団の企業です。
全体の80%が技術職です。



社員の声

STAFF VOICE 01

事業部 部長

渡邊 謙吾

KENGO WATANABE

秋田県立農業短期大学 農業工学科 卒業
入社31年目(平成元年度入社)



私は技術職の補償部門に所属しています。公共事業が計画的かつ着実に実施されるよう、用地の確保という観点から事業者をサポートしていく、補償コンサルタント業務を行っています。公共事業の施行に必要な土地・建物・庭木等の補償対象物の調査や、適正な評価及び補償額の算定、補償内容について地権者に対する説明などを行っています。社内は風通しが良く、社員の上下関係がフラットで意見が言い合えるような環境であり、チームワークで目標達成していく雰囲気のある会社です。真面目でやる気のある、多少の壁に突き当たってもへこたれない豊かな発想を持ったガッツあふれる人材をお待ちしています。

STAFF VOICE 02

事業部 課長

石綿 智幸

TOMOYUKI ISHIWATA

東北理工専門学校 測量本科 卒業
入社19年目(平成13年度入社)



主に測量調査部門を担当し、道路や橋などの構造物計測のほか災害調査などに従事しています。測量は、物を創るうえでの始まりであり、全ての基礎資料となる仕事であります。近年は、ドローンによる写真測量や小型無人ボートによる深淺測量、地上型レーザー計測などの新しい技術を活用し、三次元に現場を確認できる測量方法に取り組んでいます。社内では、コミュニケーションやチーム間連携などが積極的に行えるようフリーアドレス化にもチャレンジし、開放的な環境のもと業務を行っています。一見孤独に仕事しがちな専門技術者ですが、まわりの人をどんどん巻き込んで共に乗り切れる環境が当社にはあります。まずは、興味を持ちチャレンジしてみましよう。

STAFF VOICE 03

営業部 主任

三浦 亜以子

AIKO MIURA

東北大学大学院 教育学研究科 修了
入社13年目(平成19年度入社)



主な仕事は、お客様へ提出する営業資料の作成など、営業活動全般をバックアップする事務作業です。
入社時は当社の業務に関する知識が全く無い状態でしたが、業務を通して自分なりに勉強していくことで、知識が増えるとともに当社の業務への理解も深まりました。その結果、任せてもらえる業務の幅も徐々に広がっていったと思います。また、技術職の社員と一緒に社内プロジェクト委員として活動する機会もあり、与えられた業務をこなすだけの職場ではありません。当社の社員は「仕事も頑張り、プライベートも頑張る」人が多いように思います。ぜひ、私たちと一緒に働きませんか？

STAFF VOICE 04

事業部 技師

奥村 勇貴

YUUKI OKUMURA

秋田大学 工学資源学部 土木環境工学科 卒業
入社4年目(平成28年度入社)



技術職の中でも特に、堤防や護岸・樋門など、河川系の調査や設計を担当しています。秋田県は、平成29年に大規模な豪雨災害が発生し、現在は、その復旧や関連事業に携わる事が多いです。当社は、地元密着型の地域コンサルで、国の大きな事業に携わる事もあれば、地方自治体の仕事をいくつも同時に進めることもあります。専門分野だけでなく、一人ひとりが担当する業務の幅が非常に広いので、とても苦勞しますが、毎年さまざまな業務を経験できるのは、この仕事の魅力です。これから就職活動を進める学生の皆さんは、全国大手の企業だけでなく、地方企業にも視野を広げて、仕事内容や特色を知ってもらいたいと思います。